

公益社団法人 東京都臨床検査技師会令和3年度第11回理事会議事録

日時：令和4年3月16日（水）19時00分～21時30分

場所：都臨技事務所 オンラインWeb会議システム（Zoomミーティング）

議長：原田

議事録作成：竹澤

出席：

（都臨技事務所にて参加）4名

浄土、加藤、高橋監事、栗田（役員候補者選出委員）

以下の出席者は、Web会議システム「Zoomミーティング」により参加した。

（自宅より参加）14名

原田、杉岡、中村、米山、宮崎、三橋、山方、星野、浅野、末永、飛知和、岩瀬、竹澤、立花監事

（職場から参加）5名

櫻井：勤務先 東京都小平市花小金井8丁目1-1 公立昭和病院 臨床検査科

相馬：勤務先 東京都板橋区大谷口上町30-1 日本大学医学部附属板橋病院

平木：勤務先 東京都新宿区河田町8-1 東京女子医科大学病院 中央検査部

府川：勤務先 東京都港区虎ノ門2丁目2番2号 国家公務員共済組合連合会虎の門病院 中央検査部

遠藤監事：勤務先 東京都千代田区神田神保町1-48 税理士法人 MYユニット

計23名

欠席：小山、松村

議事の経過の要領およびその結果

定刻、東京都臨床検査技師会会長 原田典明は議長席につき、Web会議システムにより、出席者の音声即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認の後、理事会の開会を宣し、以下の議事に入った。

1. 議事録

- ・令和3年度第10回理事会議事録が承認された。
- ・2021年度第12回執行理事会議事録が承認された。

2. 報告事項

1) 学術部

(1) 学術部会

- ・3月14日に第10回学術部会を開催した。今年度最後の部会ということで、来年度からの新班長5名も参加した。
- ・事業報告に関して、幹事会および研修会の報告があり、すべて事業計画通りに終了予定。
- ・日臨技助成金については年間20回出せるが、そのうちZoom使用料12回の振り分けは各班1回、生理研究班を2回にすることになった。全20回の内訳は、血液(2)、公衆衛生(1)、微生物(2)、病理・細胞診(1)、免疫血清(1)、輸血(1)、生理(5)、一般(3)、臨床化学(2)、情報システム(1)、遺伝子・染色体(1)とする。
- ・講師料に関しては、Web研修会でも同額とすることとなった。
- ・行事予定表に掲載してある研究班メールアドレスに、迷惑メールが多数送られてくるため、対策を考えてほしいと要望が出された。
- ・次回の学術部会は予定を変更し、4月第3月曜日に開催する。
- ・病理・細胞診研究班幹事候補者が4月から神奈川県内の病院へ異動になるが、都臨技会員として継続し、研究班活動に意欲的であり研究班としても必要な人材なので承認いただきたいと要請があった。
- ・イベントペイの不正アクセスの件で、イベントペイの再開が5月下旬の予定なので、それまでは銀行振り込みなどの案内が必要。
- ・令和4年度の病理・細胞診研究班幹事増員の要望書は、第9回理事会で再提出を求められていたが、内容を見直し再提出され審議依頼がなされた。
- ・2022年・2023年度幹事候補者推薦書が提出され審議依頼がなされた。
- ・臨床化学検査研究班、一般検査研究班から共催許可願いが提出され審議依頼がなされた。

(2) 編集委員会

- ・会誌電子化の準備について進めている。
- ・メディカルオンラインへの公開の方法について、クラウド型ファイルサーバにPDFをアップロードすることになる。使用方法の画像を作成した。
- ・紙版の会誌が必要な会員は、都臨技ホームページから印刷が可能。
- ・電子版の広告費は一律3万円とすることになった。

- ・会誌への広告掲載の募集につき、賛助会員向けの案内を作成した。
- ・6月号の原稿は順調に入稿が進んでいる。

(3) 標準化委員会

- ・2022年度の血球計数項目について検討している。現在は生血液を利用していたが、ボランティア採血が難しくなったため、市販品を利用する場合のメリット・デメリット、フォトやバーチャルスライドの利用も考慮したうえで今後の実施方法を決めていく。
- ・規程類の見直し、委員の見直しを実施中。

(4) 生涯教育制度実行委員会

- ・公益事業としての都民公開講座へは2022年3月7日現在、1名の登録があった。
- ・2月の学術研究班研修会は、免疫血清検査89名、生理検査79名、輸血検査125名、微生物検査118名、血液検査78名、一般検査170名、病理細胞診検査98名の参加があった。
- ・自己申告会場研修は、過去研修会を含む11件、12名の申請があった。

2) 学会運営部

(1) 第16回東京都医学検査学会

- ・無事に会期が終了した。
- ・参加登録人数：381人（内学生17人、その他36人）、アクセス数：47,743回であった。
- ・決済はクレジット決済がほとんどで、銀行振り込みは全体の5%程度であった。
- ・今後の開催に向けて、課題が共有された。

(2) 第17回東京都医学検査学会

- ・3月22日に企画委員会を開催し、ポスターの決定をする。
- ・プログラム集の印刷会社は3社から見積もりをとり、一番安価であった野毛印刷に決定した。
- ・学会支援システム・コンフィットの内容、見積もり書の精査を行う。
- ・現地開催に必要な実施マニュアルを大会長が作成した。これにより30万円程度のコストカットになった。

(3) その他

- ・学会運営部規程の見直しを行っている。案を作成したので意見を出してもらい、4月の理事会に提出したい。

3) 支部運営

(1) 支部業務について

- ・次年度の幹事候補推薦書、支部選出の各委員候補の推薦書が提出され、承認申請がされた。

(2) タスク・シフト/シェア講習会について

- ・3月開催は中止となった。
- ・4月開催に向けて検討中で、講師に予定を確認している。

(3) 選挙管理委員会

- ・3月18日に開票作業を実施する。

4) 地域保健共催事業部

(1) 地域保健共催部会

- ・来年度の第20回看護フェスタは5月14日にライブ配信での開催が決定し、第19回で使用したWebコンテンツを再利用することとなった。

(2) STI 予防委員会

- ・青砥中学校 STI 予防教室が3月9日に実施された。
- ・保護者向け臨床検査技師の紹介パンフレットを作成し4月執行理事会に提出予定。
- ・STI 予防委員会の規程見直しを行った。
- ・ホームページの修正が終了した。
- ・来年度の委員長交代の報告がなされた。

(3) フォーラム委員会

- ・3月17日に委員会を開催する。
- ・コンテンツを、7月末までの期間で公開している。

(4) 学生対象講演会

- ・第17回東京都医学検査学会での開催に向けて、学生に対する広報の仕方を検討していく。

(5) 教育施設連絡者会議

- ・報告なし

5) 会計部

(1) 会計部報告

- ・2022年2月の収支会計報告がなされた。
- ・2022年度最終予算案について審議依頼がなされた。
- ・資金調達及び設備投資の見込みについて審議依頼がなされた。

(2) 連絡事項

- ・第4四半期の理事行動費、監事行動費の提出書を3月28日までに提出することを依頼された。
- ・委員会の会計簿と残金を、3月28日から3月31日に回収する。

6) 庶務部

(1) 庶務部報告

- ・新入会員の審議依頼がなされた。

- ・期末監査の日程が4月14日で決定したので、準備を進める。
- ・事務所の備品、書類の整理を4月の後半以降で実施し、不要な物は廃棄する。
- ・都臨技メールインフォメーションは今年度で廃止にすることとなっている。登録の会員には6か月前から周知しているので、4月1日に、トピックスへのお知らせ掲載とともにホームページからメールインフォメーションのページを削除する。

(2) 役員候補者選出委員

- ・会員からの推薦状をもとに、24名の候補者を選出し候補者名簿を作成した。今後は候補者からの承諾書を提出してもらい6月の総会に向けて準備すすめていく。

7) 事務局

(1) 事務局報告

- ・2月事務局報告書の確認がなされた。
- ・日臨技から、各医療機関における「第3回新型コロナウイルス感染症の検査機器整備状況調査」についてのアンケート調査への協力要請が来ており、施設連絡者宛てにメールで周知する。

(2) 表彰選考委員会

- ・3月24日に委員会を開催する。

8) 副会長報告

(1) 杉岡副会長

- ・3月5日実施の日臨技地域ニューリーダー講習会(Web)に参加した。
- ・イベントペイの個人情報漏洩事件に関し、ホームページで会員への周知を行ったが、今後の支払い方法について検討をする必要がある。他の決済方法で情報があれば共有してほしい。
- ・臨地実習指導者講習会について情報提供を求め、浅野理事から3月20日に講習会がある旨の報告があった。

(2) 中村副会長

- ・東京都から、公益認定基準に関わる照会が来ており、遊休財産保有限度額を満たさなかった法人に対し今後の対応について回答が求められた。遊休財産の保有が年期末で1931万円となっており、対応として都臨技会館購入積立金の積み増しを今期中に2000万円追加することとして、今期は2300万円を積み立てることを提案をしたい。それ以上に追加が出る場合は、次年度以降の積み立てをすることで対応したい。追加積み立てにより今期末で都臨技会館購入積立資金は7139万円となる。これらに関し、遠藤監事からも内容について問題はなく、理事会で承認されれば阿川事務所から東京都へ照会の返事をするということになっている旨の発言があった。

- ・70周年記念誌に関し、今月中にページ割を決定する。

- ・3月5日実施の日臨技地域ニューリーダー講習会(Web)に参加した。

9) 会長報告

- ・タスク・シフト/シェア講習会、臨地実習指導者講習会は会員から早期の開催を望まれている。これらに関しては新型コロナウイルス感染症の動向を見極め、早急に進めてもらいたい。

3. 審議事項

1) 令和4年度 事業計画概要書について

- ・令和4年度 事業計画概要書案が提出され審議の結果、承認された

2) 令和4年度 予算について

- ・令和4年度 予算案が提出され審議の結果、承認された
- ・資金調達及び設備投資の見込みについて、令和4年度は借入の予定はなく、重要な設備投資の予定として研修会用パソコン11台の購入が承認された。

3) 学術研究班幹事について

- ・病理細胞診検査研究班からの幹事増員要望書について審議の結果、承認された。
- ・病理細胞診検査研究班、生理検査研究班の幹事各1名が東京都以外の施設へ転勤となったが、来年度からの研究班幹事を継続したいとの申し出があり審議された。自宅は都内にあり都臨技会員は継続されるため問題なく業務は可能であるとのことであったが、以前、他の研究班で新規の幹事候補としては却下された経緯もあり同様にすべきであるとの意見が出された。今回は新規ではなく継続であり、自宅会員であれば問題がないという意見もあったが、基本的には所属する職場がある技師会に所属するのが本来の形であることから、幹事の任期を1年とし、その間に東京都の施設に勤務する会員から幹事を選出することを条件に承認された。また今後、不公平感なく統一した対応がなされるように、理事会にて検討することとした。

4) 新入会会員について

- ・一般会員4名、学生会員3名について審議の結果、承認された。

5) 2名の所属支部変更申請書が提出され審議の結果、承認された。

6) 2022年、2023年年度幹事候補者、委員候補者について

- ・学術研究班幹事候補者の推薦書が提出され審議の結果、遺伝子検査研究班4名、一般検査研究班10名、血液検査研究班10名、公衆衛生検査研究班8名、情報システム検査研究班6名、病理細胞診検査研究班13名、免疫血清検査研究班9名、輸血検査研究班10名、臨床化学検査研究班10名が承認された。

- ・精度管理調査委員会委員候補者13名の推薦書が提出され審議の結果、承認された。

- ・広報委員会委員候補者5名の推薦書が提出され審議の結果、承認された。

- ・表彰選考委員会委員候補者4名の推薦書が提出され審議の結果、承認された。

- ・支部幹事候補者の推薦書が提出され審議の結果、西支部10名、東支部9名が承認された。

- ・STI予防委員会常任委員候補者1名の推薦書が提出され審議の結果、承認された。

- 7) STI予防委員会規定の見直し案が提出され承認申請があったが、一部修正し再提出となった。

- 8) 臨床化学検査研究班から東ソー株式会社との共催許可願書が提出され審議の結果、承認された。
- 9) 一般検査研究班からシスメックス株式会社との共催許可願書が提出され審議の結果、承認された。
- 10) 今年度の会館積立金を2,000万円積み増しし、2,300万円とすることが提案され審議の結果、承認された。

以上をもって本理事会の審議を終了したので、議長は閉会を宣言し21時30分に解散した。本日のWeb会議システムを併用した理事会は、終始異常なく審議を終了した。上記の議題及び決議内容を明確にするため、この議事録を作成し議長と監事は次に署名捺印する。

2022年3月16日(水)
公益社団法人 東京都臨床検査技師会
議事録作成 竹澤理子

議長
(原田)

原田典明



監事
(立花)

立花勇一



監事
(高橋)

高橋秀治



監事
(遠藤)

遠藤盛人

